

学位申請論文の審査基準

数理科学専攻

修士学位申請論文

修士学位申請論文（以下、修士論文）は、申請者が主体的に取り組んだ研究成果で、数理科学領域において基礎理論を修得していることを示すものでなければならない。修士論文は以下の項目に基づき審査される。

- ・ 研究課題の背景と意義が十分に記されていること
- ・ 研究内容が数理科学的に意義のあること
- ・ 適切な文献が引用されていること

博士学位申請論文

博士学位申請論文（以下、博士論文）は、申請者が主体的に取り組んだ独創性の高い研究成果で、数理科学領域における高度な専門知識及び研究能力を示すものでなければならない。博士論文は以下の項目に基づき審査される。

- ・ 研究課題の背景と意義が十分に記されていること
- ・ 研究結果が新しい数理科学的知見を含んだ意義深いものであること
- ・ 適切な文献が引用されていること
- ・ 研究内容が、査読制度のある学術誌に論文として1報以上掲載済み（あるいは掲載が決定されている）か、またはそれと同等の内容であると認められること

物理学専攻

修士学位申請論文

修士論文は申請者が取り組んだ研究の成果で、かつ高い独創性を有していなければならない。修士論文は以下の項目に基づき審査される。

- ・ 研究課題の背景と意義が十分に記述されている。
- ・ 論理的思考のもとに熟考された研究計画、および研究の方法が具体的に記されている。
- ・ 研究で得られた結果の整理・解析が適切に行われており、それらに対して妥当な物理的解釈がなされている。
- ・ 論文、参考文献が適切に引用されている。
- ・ 修士論文には学会等で発表された研究成果（修了期間内に発表予定のものも含む）、あるいはそれに準ずる内容が盛り込まれていることが望ましい。

博士学位申請論文

博士論文は申請者が主体的に取り組んだ独創性の高い研究成果で、査読制度のある国際学術誌への掲載など外部で評価された内容を有していなければならない。博士論文は以下の項目に基づき審査される。

- ・ 研究課題の背景と意義が十分に記述されている。
- ・ 論理的思考のもとに研究計画が熟考され、研究の方法が具体的に記されている。
- ・ 研究で得られた結果の整理・解析が適切に行われており、それらに対して妥当な物理的解釈がなされている。
- ・ 研究内容の学術的な意義が述べられている。
- ・ 論文、参考文献が適切に引用されている。
- ・ 学会等（国際学会が望ましい）で発表された内容が盛り込まれている。
- ・ 査読制度のある国際学術誌に、論文（1報以上）として掲載（印刷中を含む）された内容を含んでいる。

化学専攻

修士学位申請論文

修士論文は、化学における専門性の高い課題の遂行に必要な基礎概念の理解と基本的な手法の修得を実証する考察を含む内容を有していなければならない。修士論文は以下の項目に基づき審査される。

- ・ 研究課題の目的と背景が明確に示されている。
- ・ 研究計画と研究方法が具体的に示されている。
- ・ 研究結果が明確に示され、その解析と考察が適切に行われている。
- ・ 先行研究を把握し、関連する論文が適切に引用されている。
- ・ 学会等で発表した研究内容が盛り込まれていることが望ましい。

博士学位申請論文

博士論文は、選択した研究テーマについて独自の発想に基づいて研究を遂行し、自らの力で得た学術的な新知見を含む内容を有していなければならない。博士論文は以下の項目に基づき審査される。

- ・ 全体の論文構成が体系的である。
- ・ 研究課題の目的と背景が明確に示されている。
- ・ 研究計画と研究方法が具体的に示されている。
- ・ 研究結果が明確に示され、その解析と考察が適切に行われている。
- ・ 研究の学術的な意義と波及効果が述べられている。
- ・ 先行研究を把握し、関連する論文が適切に引用されている。
- ・ 学会等で発表した研究内容が盛り込まれている。
- ・ 査読制度の確立された学術雑誌に掲載または掲載が決定された原著論文 1 報以上の研究内容が盛り込まれているか、あるいはこれに準ずる内容が盛り込まれている。

生命科学専攻

修士学位申請論文

修士論文は申請者が取り組んだ研究の成果で、高い独創性を有していなければならない。
修士論文は以下の項目に基づき審査される。

- ・ 研究の背景と意義が、適切に論文を引用しながら述べられている。
- ・ 研究方法が具体的に記されている。
- ・ 実験結果のデータ整理と解析が論理的になされている。
- ・ 中間審査会で指摘された項目を考慮し、執筆されている。
- ・ 修士論文に含まれる研究成果が学会等で発表されている（修了期間内に発表予定のものを含む）。

博士学位申請論文

博士論文は申請者が主体的に取り組んだ独創性の高い研究成果で、査読制度のある国際学術誌への掲載など外部で評価された内容を有していなければならない。博士論文は以下の項目に基づき審査される。

- ・ 研究の背景と意義が、適切に論文を引用しながら述べられている。
- ・ 研究方法が具体的に記されている。
- ・ 実験結果のデータ整理と解析が論理的になされている。
- ・ 中間審査会で指摘された項目を考慮し、執筆されている。
- ・ 研究成果が学会等（国際学会が望ましい）で発表されている。
- ・ 博士論文に含まれる研究成果が査読制度のある国際学術誌に、論文として1報以上掲載されている（印刷中を含む）。
- ・ 研究の波及効果が述べられている。

情報科学専攻・人間システム工学専攻

修士学位申請論文

修士論文は申請者が取り組んだ研究成果で、独創性を有していなければならない。修士論文は以下の項目に基づき審査される。

- ・ 研究の背景と意義が、適切に論文を引用しながら述べられている。
- ・ 問題設定と解決方法の選択が適切になされ、結果と考察が根拠に基づいて論理的に記述されている。
- ・ 学会等で発表された研究成果あるいはそれに準ずる内容を含んでいる。

博士学位申請論文

博士論文は申請者が主体的に取り組んだ研究成果で、かつ高い独創性を有していなければならない。博士論文は以下の項目に基づき審査される。

- ・ 研究の背景と意義が、適切に論文を引用しながら述べられている。
- ・ 問題設定と解決方法の選択が適切になされ、結果と考察が根拠に基づいて論理的に記述されていること。
- ・ 博士論文に含まれる研究成果が、学術論文1報および査読付国際会議論文1報、あるいは学術論文2報として掲載されている。論文は印刷中を含む。